

千葉市シェアサイクル実証実験を開始します ～3月26日から千葉都心及び幕張新都心でシェアサイクルが走り出します！～

千葉市とOpenStreet株式会社は、都市部における新たな交通サービスとしてのシェアサイクルの有効性及び課題などを検証するため、3月26日から千葉都心及び幕張新都心において、「千葉市シェアサイクル実証実験」を開始しますので、お知らせします。

1 実証実験の概要

(1) 実施期間

平成30年3月26日～平成31年9月末（予定）

(2) 実施地域

地域名称	範囲
千葉都心エリア	千葉駅を中心とする 概ね半径2.0kmの範囲
幕張新都心エリア	海浜幕張駅を中心とする概ね半径2.0kmの範囲

(3) 実施体制

主体	千葉市（実施主体）	OpenStreet株式会社（運営主体）
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験全体の総括 ・公共のステーション用地確保（実験期間中は使用料を免除し、採算性の検証を求める） ・関係者調整（交通事業者、自治会） ・市民等への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び器材整備 ・民間のステーション用地確保 ・シェアサイクル事業の運営 ・放置自転車対策 ・利用者アンケート・データの収集等 ・利用者への周知・広報

※事業者による本事業の運営に要する費用はすべて事業者の負担とし、千葉市は補助金、委託料、その他一切の費用を負担しない。

(4) 利用方法（詳細は別紙1参照）

スマートフォンなどで事前に利用登録（無料）し、利用したいステーションの自転車を予約し、現地ステーションで予め発行された予約番号を端末に入力して利用を開始。

※電動アシスト付自転車。利用料金は15分ごと60円（1日最大1,000円）。

(5) ステーション設置場所（詳細は別紙2参照）

実験開始時に、千葉都心エリア7箇所、幕張新都心エリア6箇所のステーションを設置。

(6) 自転車投入台数

千葉都心エリア60台、幕張新都心エリア50台の自転車を投入。

※ステーション及び自転車は、関係者と協議の上、順次、増設する予定。

2 漕ぎ初め式（オープニングセレモニー）

(1) 日時

平成30年3月26日（月） 15:00～15:30 <雨天中止>

(2) 場所

JR千葉駅東口 駅前大通り

(3) 出席者

市長、OpenStreet株式会社COO、自転車を活用したまちづくり連絡協議会副会長

(4) 内容

利用方法の説明及び周辺道路での試乗など。（式典後に市長の囲み取材を予定）

(5) 取材について

当日現地での取材を希望される方は、3月23日（金）16:00までに国家戦略特区推進課へご連絡ください。

参考 **Open Street** 株式会社について

平成28年11月に設立された企業。同月よりIoTを活用したシェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING」の提供を開始。ソフトバンクグループのSBイノベーション株式会社とヤフーグループのZコーポレーション株式会社から出資を受けている。

シェアサイクル運営事業者に「HELLO CYCLING」のシステム（スマートロック、利用者向けアプリ、決済システムなど）を一括提供するビジネス形態をとっているのが特徴。

電車やバスなどを下車した後の「ラストワンマイル」の移動を支える補助交通として、各地に根差したシェアサイクルを発展させることを目的としている。

自治体との連携として、これまでに栃木県小山市（平成29年4月から実施）や愛知県岡崎市（平成29年10月から年度末まで実証実験中）での導入実績があるほか、小豆島や埼玉県さいたま市でも「HELLO CYCLING」を活用したシェアサイクルが展開されている。今後、全国の政令指定都市を中心に「HELLO CYCLING」を活用したシェアサイクルを展開することを目指している。

